

令和4年度 一人一人の確かな学力のために

5年

	学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の学期末テストで90点を合格とし、8割以上の児童が合格できることを目指します。そのために、定期的に漢字10問小テストを実施し、定着を図ります。また、既習漢字を使って書くことができるように指導します。 ・自分の考えをもち、伝えることができる児童を目指します。そのために、必要な情報を集めたり、情報を整理して根拠や例を用いながら自分の考えを書いたり、発表したりすることを指導します。 		
基礎・基本 算数	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用し、e-ライブラリなどのオンライン教材を使って繰り返し問題に取り組ませ、学習内容の定着を図ります。間違いは直す習慣を付けるよう指導します。 ・単元のテスト直しを実施し、学習内容が理解できるようにします。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習の「しめ縄作り体験」では、社会科の米作りの学習と関連させるだけでなく、郷土の歴史や職人さんの思いなどにも触れることで、ふるさとを愛する気持ちを育てます。 ・理科で学ぶ動植物の生命の繋がりや、社会科で学ぶ日本の産業など、教科で学ぶ様々な内容を関連付け、多面的にとらえられるよう助言することで、教科の学びがSDGsの観点に繋がるよう指導します。 ・ローマ字タイピングがスムーズに行えるようにします。休み時間なども、タイピングの練習に取り組める環境にし、楽しく習得できるようにします。 		
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対して、予想を立てて追及していく学習方法が身に付けられるよう、学習のめあてや課題をもち、振り返るという活動を継続的に行います。また、自ら課題を見い出し、見通しをもって解決することのできる児童を目指すために、授業の始めにめあてを明確するなど、自分の考えを言葉や文で表現できるようにします。 		
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと、聞くことの大切さを意識化させるために、相手を意識して話したり、相手の話を受けて話すこと、話している人の方を向いて聞いたりメモをとったりすることを指導していきます。 ・家庭学習時間を毎日75分間(15分×5年生)取り組むことを目指します。また、自主学習を励行し、自らの課題を考えて取り組むよう声を掛けます。 		